

関係機関と連携した就学支援について



令和4年 6月 27日(月):アイネス大会議室
こどもに対する切れ目ない支援のための研修会
中津市教育委員会 学校教育課 野依 康孝

本日の内容

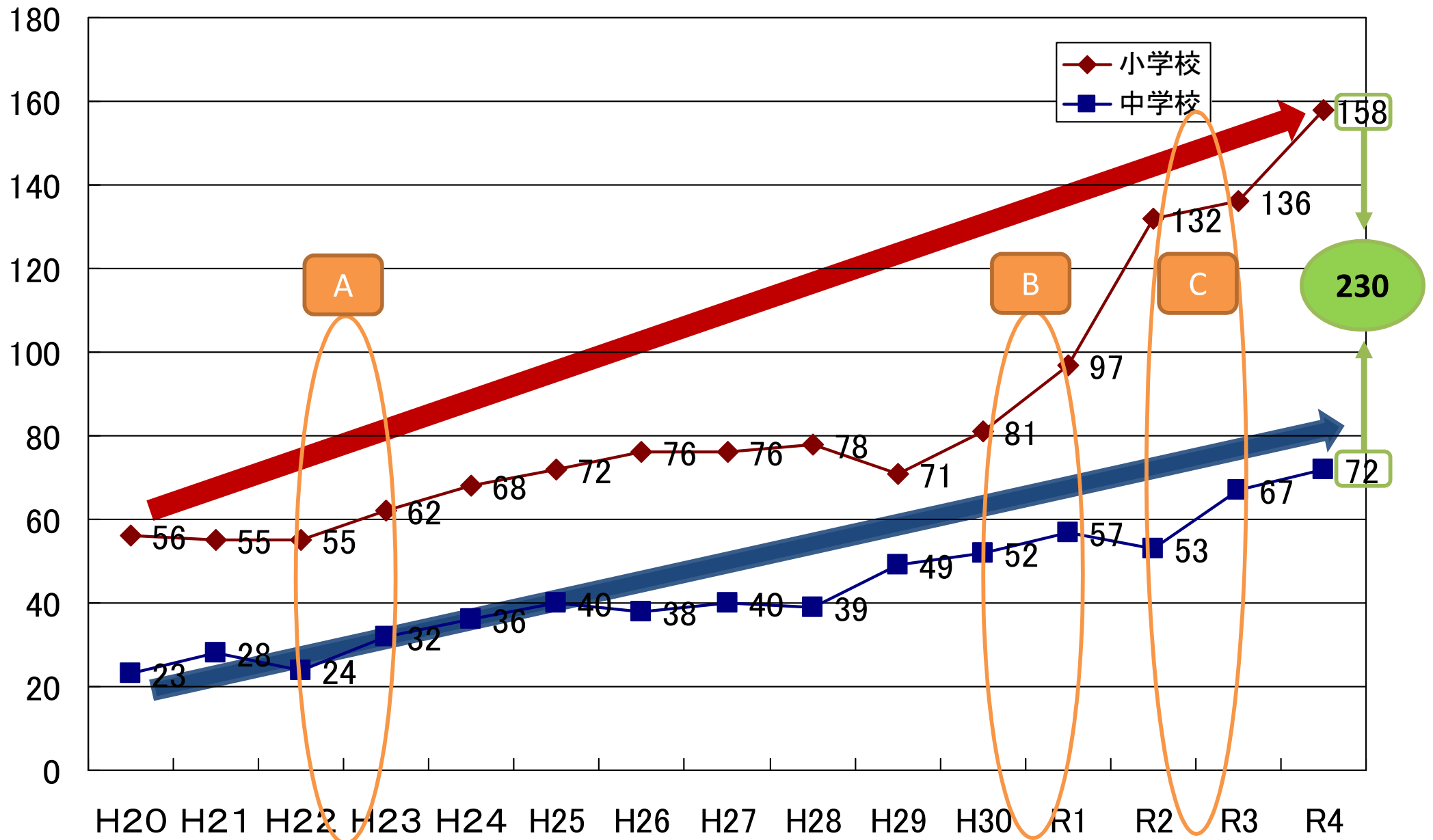
1. 中津市の特別支援学級児童・生徒の現状
2. 就学相談と就学支援の実際

1. 中津市の特別支援学級児童・生徒の現状

230

6905

特別支援学級在籍児童生徒数の推移



A H23～増加の要因として考えられること

- ・H19～ 教職員研修・保護者への啓発
- ・H21～ 5歳発達相談会開始
- ・H22～ 保幼小連携協議会開始

B

H30～増加の要因として考えられること

- ・H28～中津市障害者施設対策推進協議会発足
専門部会（相談支援部会、子ども部会等）
- ・H29～中津市の児童発達支援利用 増
- ・H30～中津市乳幼児教育振興プログラム開始

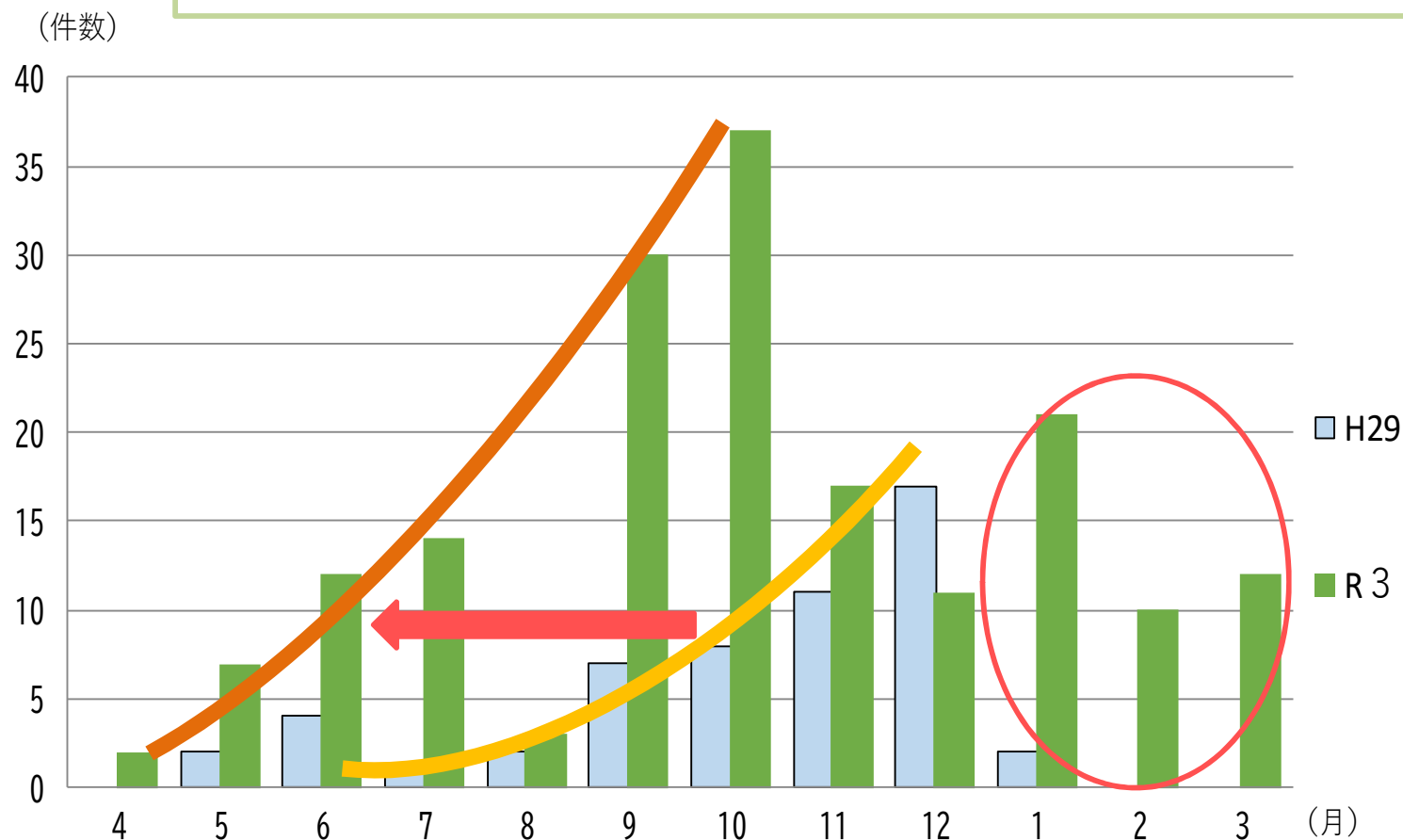
C R2～増加の要因として考えられること

就学時に特別支援学級入級希望 → 増加

	特別支援学級		
	R2	R3	R4
就学児の入級希望	13	16	30



就学相談件数の推移



月	H29	H30	R1	R2	R3
4	0	2	2	6	2
5	2	4	4	2	7
6	4	8	7	14	12
7	1	4	10	15	14
8	2	9	10	14	3
9	7	16	10	23	30
10	8	13	15	23	37
11	11	7	8	12	17
12	17	5	0	11	11
1	2	1	1	3	21
2	0	2	10	10	10
3	0	2	2	4	12
	(54)	(73)	(79)	(139)	(176)

- 状況を把握できる時期が早まっている
- 相談・情報共有エリアが広がっている

その背景には…

関係機関との連携が大きく影響

2. 連携による就学相談と就学支援の実際

中津市では
様々な関係機関と連携した教育相談体制の整備

様々な相談窓口となる機関が **連携**

情報共有



教育委員会 就学担当へ
(年長時の就学相談)

保護者が就学担当へつながるまで

0才

各種健診・相談

相談・観察

保健師

園・所
先生

受診・相談

P「何か違うかも!?!」

療育・観察

療育

児童発
達支援

相談・手続き

診察・相談

福祉係

医師

年長

就学相談

P「この子にとってよりよい学びの場は〇〇かな」

就学相談・支援の内容

担当が相談を受けながら以下の就学支援を行っている

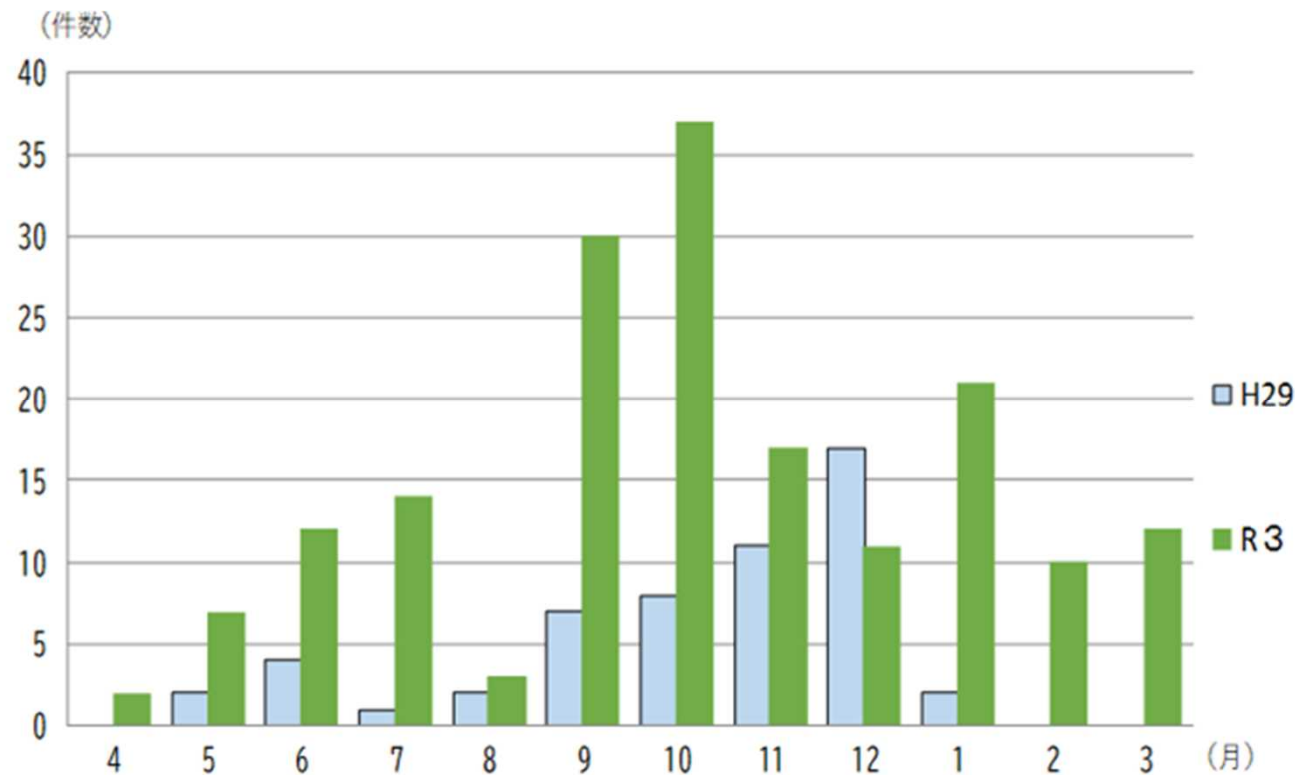
- *学校見学 調整、同行
- *所属の園・所への現認、Tへの聞き取り
- *療育・児童発達支援施設への現認、Tへの聞き取り
- *S-M社会生活能力検査の実施
- *就学先学校への情報提供
- *サポート会議の設定
- *相談支援ファイルの説明、提供
- *入学後の後追い

関係機関との連携の中で大切にしていること

- ①子どもことを共に考える
- ②顔を合わせて相談する
- ③記録の最後は次にすることを記す
- ④持ちつ持たれつ
- ⑤就学前で得た情報とつながったパイプを就学先につなげる

今後より力を入れたい取組

就学先を通常学級に決定した就学児への支援の強化



月	H29	H30	R1	R2	R3
4	0	2	2	6	2
5	2	4	4	2	7
6	4	8	7	14	12
7	1	4	10	15	14
8	2	9	10	14	3
9	7	16	10	23	30
10	8	13	15	23	37
11	11	7	8	12	17
12	17	5	0	11	11
1	2	1	1	3	21
2	0	2	10	10	10
3	0	2	2	4	12
					(176)

(54) (73) (79) (139) (176)

※2月は年中児の相
多かった

R3:就学相談延べ件数は176件

176件の詳細は

176件 → 相談人数: 130人 (年長: 93人 年中: 37人)

年長児: 93人の就学先

*中津支援学校	5名
*特別支援学級(知的)	23名
*特別支援学級(自・情緒)	6名
*通級指導	2名
	計 36名
*通常学級	57名

就学先を通常学級に決定した就学児への支援

①情報提供

②本児の現認

③サポート会議

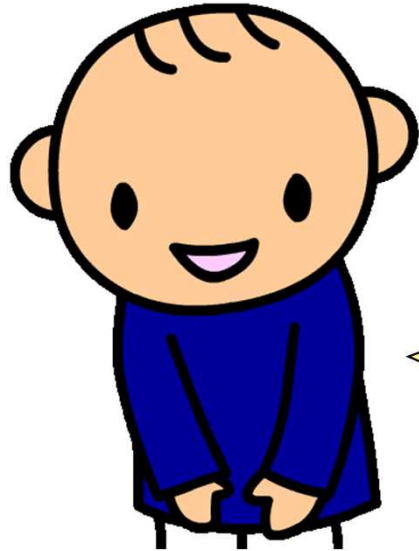
④補助的支援

⑤後追い

⑥教職員のスキルアップ

最後に

「野依さんっていますか？」



ご清聴ありがとうございました。